

NPO法人 共に歩む市民の会

会 報

2007年3月31日 発行

共に歩む市民の会広報委員会

通巻 第19号

☎ 241-0022

横浜市旭区鶴ヶ峰2-1-16

☎ 045-953-6727



フィンガーボール

旭福祉保健センター 森 輝幸

「ほっとぽっと」が開所して、この二月で二周年を迎えました。たくさんの思い入れのある人たちが地道な活動をつなげることによって、横浜市初の拠点型の支援センターが生まれました。立ち上げ前の一年は夜に話し合いを20回もったことが今も思い出されます。話が思うように進まないこともあったような。それでも当事者主体でたまり場の良さを発展させる形が崩れなかつたのは、それまでの行動の積み重ねと人のつながりがあったからこそだと感じます。

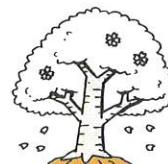
二年の月日がたつと誰しも色々な変化が出てきます。新たに「ほっとぽっと」の運営に関わりはじめた当事者・関係者、職場が変わった人、家族が増えた人などなど数えればきりがありません。もちろん、変わらず市民の会を支えてくれている方々も大勢います。

自分自身を振り返ってみても、区役所の中で担当が変わり、子育てにも追われるようになりました。それでも日々の忙しさから少し離れると、自分は何をやりたいのだろう、と真剣に考える時があります。そんな時、小学校の頃に聞いた話をよく思い出します。

ある王様が食事会を開いたところ、招かれた客人がフィンガーボールを飲み物と思い飲んでしまいました。周りから失笑が起りそうになった時、王様は何も言わずに自分もフィンガーボールを飲みました。

こんな話だったかと思います。特に難しい話ではありませんが、自分の感性に引っかかるものがありました。どのような人間でありたいか、あるべきか考えさせられます。

こころの病や悩みは多かれ少なかれ誰しも抱えるものです。その時は、まず休息し、手を借りる。そして少し余裕ができたら、自分自身どうありたいのか、今できることは何かを考えたり、話し合えれば良いのかなと思います。そんな場所が「ほっとぽっと」には確かにあります。ぜひ一度足を運んでみてください。



『第8回 旭区精神保健福祉セミナー』



2月22日、第8回旭区精神保健福祉セミナーが開催されました。

開催までの足取りと当日の様子、そして発表者、参加者それぞれの立場からの感想をいただきました。

第8回旭区精神保健福祉セミナーを終えて

旭福祉保健センター サービス課
小笠原 昌

今年度の旭区精神保健福祉セミナーは、8回にわたる実行委員会を行い、開催に到りました。

(初めはその内容について、できるだけ関係者の皆さん 의견を反映させたいとアンケートづくりから始まりました。)

当日午前の部は「当事者からのメッセージ」で、むくどりの家の堀川正和さん、神奈川病院デイケア・旭ぴあくらぶの布留川謙司さんに体験発表をしていただき、その後、支援者の立場から「地域とともに暮らし続けるために」をテーマに、旭区の持つ社会資源やそれを立ち上げるまでの経緯等をお話ししていただきました。

加えて、区内各支援機関の方々や当事者の方々を交えての座談会も行われました。

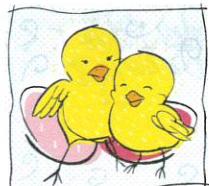
午後からはテーマ別分科会を開催し、10グループ（正確には9グループ）にわかれ、各グループディスカッションを行い、その議論結果を各代表の方々に発表していただきました。

今回のセミナーは、「当事者自らがつくりあげる」ことに主眼をおきました。

いただいたアンケートのご意見の中にも、「関わった方の手づくり感があつた」「当事者の手でつくったセミナーという感じでとても良かった」等の意見が多数寄せられました。

一方で、精神保健福祉関係に限定せず、身体障害・知的障害の関係機関等にもセミナーのお誘いをし、ご出席いただきました。その結果、218名の多方面の関係機関・市民の方々に参加していただくことになりました。

「当事者の方々が自ら活動していくとする気概があること」と「恵まれた多数の社会資源」、「関係機関同士の密接なネットワーク」があることが旭区の特徴であり、これを是非活かしてセミナー含め今後も発展を続けていくことを願っています！





「セミナーの感想」

布留川 謙司

今までのセミナーは、他の団体から応援を受けて開催されていました。今回は、当事者から、旭区の当事者で立ち上げたセミナーにしたいという意見が出されました。一番最初に声をあげたのが私だったので、本当に当事者が中心になれるのかなと思いながら、実行委員長に名乗りをあげました。

私は、体験発表も二回目ですが、自身の五年間の中身が少し説明不足だったかなと感じています。

キャッチフレーズには自立という言葉を使いました。改めてその意味を考えるきっかけになりました。不安の中にも未来が開かれていることを当事者から感じ取れたセミナーだったと思います。



午前中の「精神保健福祉セミナー」に参加して

松元 紀子

長い退院生活後「むくどりの家」につながり、現在は何事にも前向きに活動している堀川さん。「助け合ってグループホームで暮らし、地域作業所に通う日々であるが、眞の自立生活だと自分なりに考えている」と話されました。

五年ぶり、第2回目体験発表者の布留川さん（旭ぴあくらぶ）は、今回のセミナーの実行委員長です。「前回の発表がきっかけで沢山の人と学びのチャンスに恵まれた。今日あるのは仲間のおかげ。仲間と立ち上げたピア活動（当事者同士の助け合い）に一人でも多く参加してください」との呼びかけもありました。二人の発表者には大きい拍手が沸きました。

後半の内容は、旭区内の社会資源の説明。「旭区メンタルサポートガイド」を使って作業所、デイケア、グループホーム、行政のスタッフから丁寧な説明を受けました。当事者やご家族の方達、困ったと思ったら勇気をもって相談窓口の扉を叩こうではありませんか。

「昨年施行された障害者自立支援法により、障害者の今置かれている状況は厳しい。安心で安全な生活のために、地域の方達、関係機関とも手をつなぎ輪をひろげたい。行政の動きにもこれから皆で声をあげていかなければ…」と、ほっとぽつと川田施設長の言葉が強く印象に残りました。

さて、精神障害者を最も身近に抱えている私達家族会にとって「ほっとぽつと」が障害者の生活支援拠点としての機能を十分に發揮して頂き「障害者の自立を」求めている今後の福祉行政を迎えるにあたり、お互いに絆をより強めて共に歩む頼もしいパートナーである事を期待して、今後とも宜しくお願ひします。



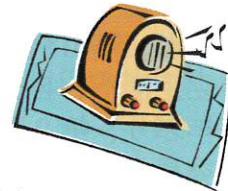
ボランティアさん リレートーク!



『共に歩む市民の会』のボランティアの日頃の思いをつづるリレートーク。
前回の語らい電話のKさんからバトンを手渡されたのは・・・
第3回は語らい電話のAさんです。

人を恋しくなる時って誰にもありますよね。そんな時、無性に誰かの声を聞いていたいと思いませんか。ずいぶん前の話ですが、受験勉強をしながらすごく孤独を感じていた時がありました。当時は深夜放送が全盛期。たまたまラジオから流れてきたメロディー（「ミスターロンリー」）とパーソナリティーの声がとても私の心を癒してくれました。勿論、私はリスナーの一人に過ぎませんが、同じ時間を共有しているという安心感がいつのまにか孤独な私の心を満たしていました。独りではない。よし、がんばるぞ・・・これが私の語らい電話ボランティアの原点になっているのではないかなと思います。

悲しかったこと、悔しかったこと、あるいは楽しかったことやうれしかったことなど誰かに聞いてもらわなければ、心に納めておくことが大変という経験は私自身過去に一度や二度ではありません。唯、聞いてもらいたい。そうだよねって、大変だったね。良かったねって。それだけのことなんです。



語らい電話ボランティアをはじめて一年半。単細胞の私にとっていろいろな話を聴かせて頂くなかで、「なるほど、そういう考え方もできるか」という発見の場であり、「あなたも、私も独りじゃないね」と再確認する貴重な場ともなっています。

語らい電話 Aさんより



会員紹介



今年で9年目を迎えた『共に歩む市民の会』ですが、現在約100名もの方々がこの会の活動に賛同し、会員となってくださっています。そんな会員の皆様の素顔をちょっとずつご紹介していきたいと思います♪ 第3回目はこちらの方です。

No.5:伊達 和子 さん

Q:所属は？－A:木々の会

Q:どんなお仕事されますか？

A:ほっとぽとでの夕食会のメニュー作り、ちゃんとこ番。

むくどりの家・木楽舎でのランチ作り
パートナー

Q:(周りの人から)伊達さんてどんな人？

A:＊お料理上手！お料理名人！

伊達さんがランチを作ってくださる日は、いつもより食べる人数が増えます！

*照れ屋さん

*みんなのおかみさん

*声が大きくて美しい。明るく元気。

*おしゃめな多彩(多才)人

No.6:望月 真奈美 さん

Q:所属は？－A:木楽舎

Q:どんなお仕事されますか？

A:木楽舎のスタッフです。

Q:(周りの人から)望月さんてどんな人？

A:＊サッカー(ブラジル)好き、
でも運動音痴。

＊明るくてさっぱりしている。

＊面倒見が良い。

＊いざという時、頼りになる。と思う。

＊ぼよーん→ぴしつ→ふにゃ～→ぴしつ
前にもどる

＊やる時はやる、休む時は休む。
緩急おりおり切替え上手。



◆ 会員の方へ 会費納入のお願い ◆

18年度の会費をまだ納めていない方は下記へお振込くださいようお願い致します。

郵便振替口座番号 00280-6-132476

加入者名 特定非営利活動法人 共に歩む市民の会

～事務局ニュース～

障害者自立支援法1年～勉強会続けてます～ 次回は5／11（金）

障害者自立支援法が施行され様々な波紋を呼んでいます。去年のセミナーでよびかけて始まった市民の会主催の勉強会。1～2ヶ月に1回、当事者・家族や作業所・グループホームのスタッフが集まり、抱えている疑問や不安を出し合い、区のワーカーさん方に答えてもらったり自分たちで調べたりしてきました。身障の当事者に来てもらって話も聞きました。

当初不安の大きかった認定システムや利用料、グループホームの方向などはだいぶ見えてきたとはいえ、不透明なこともあります。「3障害いっしょ」になってどうなのかもまだまだ見えませんね。今後は生活保護や介護保険等も含めつつ、しぶとく勉強を続けていくと話し合っています。

一度いらしてみませんか？ 次回は5月11日（金）3時～ ほっとぽっと別館で。

〈ほっと たつはな亭〉5月・6月 コンサートのお知らせ

- ◆ 5月30日（水）風薫る5月の歌声～柳澤涼子ソプラノ・リサイタル～
- ◇ 6月26日（火）ブラジルに思いをはせて～アロマーズが贈る熱きボサノバ～
5・6月とも 会場＝ほっとぽっと別館サロン 開場＝13：45 開演＝14：00
入場料（コーヒー・ケーキ付）当事者 500円 共に歩む市民の会会員 800円 一般 1000円
申込み⇒045-953-6727 ほっとぽっと（日・月曜休） 定員25名です お早めに！



編集後記



～今号はサクラの花いっぱい
オールカラースペシャルでお届けしました～

✿自立支援法が始まって当事者、関係の方達には不安、とまどいの一年でしたね。
(笑うかどには福来たる) の精神でねばり強く… 松元

*語らい電話に参加するとボランティアの方の素晴らしい方にいつも感激します。
リレートークもぜひご一読を。 森

✿歴史の重みを感じる「神奈川第二病院」が4月から「あさひの丘病院」に生まれ変わります。嬉しい様なショッと寂しい様な…。皆さん遊びに来て下さい。松迫

✿桜の花もほころび、桜のトンネルを通る通勤がちょっと楽しみな季節になりました。
出会いも別れもあるこの季節…。気分一新でがんばろう！ 高木

〈速報〉今年度の市民の会総会の日程が決まりました！ → 6月30日(土) 1:30PM～

場所は旭公会堂会議室。詳細は改めてお知らせします。どうぞ予定を空けておいてください！

